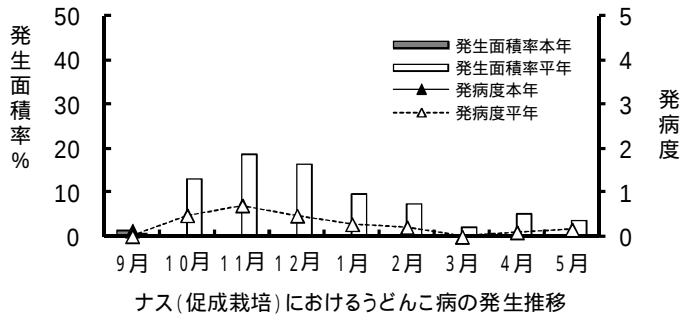


平成24年10月5日

高知県病害虫発生予察9月月報及び予報第7号(10月) 野菜類ダイジェスト版

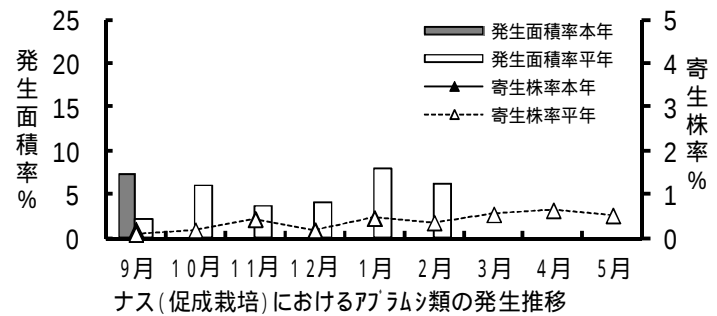
● 促成ナス(東部・中央部・西部)

うどんこ病 発生量:多



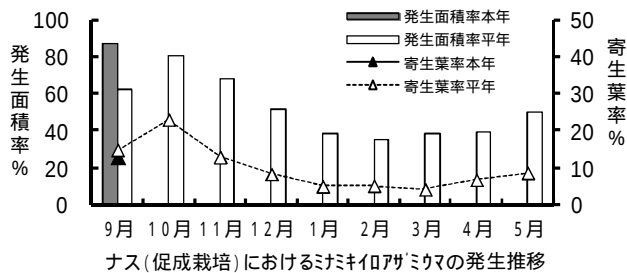
9月下旬時の巡回調査では、県東部、中央部ともに平年に比べ多発生となっています。今後、天候によっては、更に病勢が伸展することが考えられます。温湿度管理、草勢管理を適正に行い、発病を認めた場合には初期から薬剤防除を行いましょう。

アブラムシ類 発生量:多

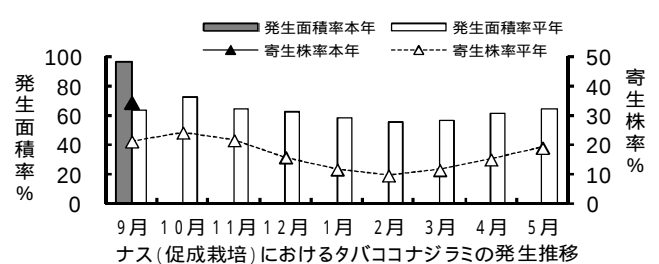


9月下旬の調査では県東部では多発生、県中央部では少発生でした。天敵の定着のため、防除対策が遅れ気味になっている場所が見られます。本虫は増殖が早いので発見したら、直ちに防除してください。

ミナキイロアザミウマ 発生量:平年並

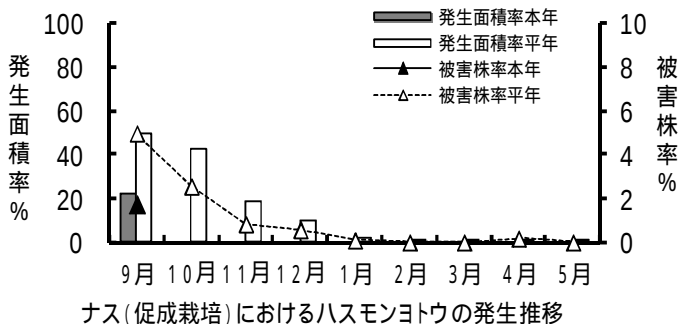


タバココナジラミ 発生量:やや多

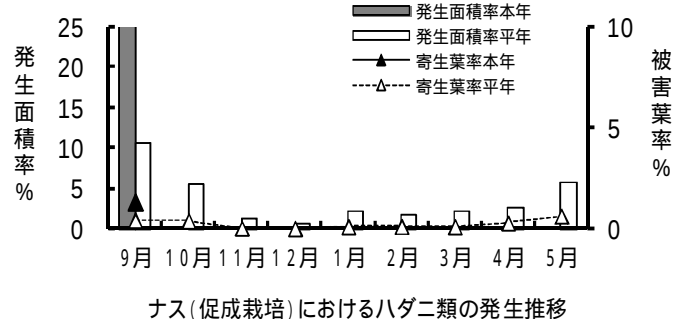


ミナキイロアザミウマ、タバココナジラミともに、多くの調査ほ場で発生が見られています。県東部では両害虫ともに多発生、中央部では平年並の発生となっています。特に天敵導入ハウスでは、天敵の定着までにさらに両種の密度が上昇する場合がありますので、密度が高いほ場では、微生物 製剤や選択性殺虫剤等での防除が必要になると思われます。

ハスモンヨトウ 発生量:少



ハダニ類 発生量:多



野外でのフェロモントラップ調査でも、県東部では少発生、県中央部では平年並でした。薬剤散布の減少により、突発的に発生することがあります。よく発生状況を観察して、発生初期に防除するようにしてください。

9月下旬時の調査では、県東部、中央部で多発生となっています。発生をよく観察し初期防除に努めてください。天敵導入ハウスでは薬剤の選定に留意してください。